



ロータリー：
変化をもたらす



守口ロータリークラブ 週報 No.23



2017-18 RIテーマ

職業奉仕月間

本日のピアノ演奏

1、ダニーボーイ 2、いとしのエリー 3、Let Its be

本日例会 2018年01月24日(水)
(第2745回)

「ロータリーの樹」
石橋 高夫 会員
担当：職業奉仕委員会

次回例会 2018年02月07日(水)
(第2746回)

「調整中」
前川 正敏 会員
担当：国際奉仕委員会

出席報告			
例会日	出席(名)	欠席(名)	出席率
01月17日	27 (内免除者1名)	16	62.79%【会員44名】
01月10日	30 (内免除者2名)	メイクアップ3名 (69.76%)	



前回例会 (2744回) 1/17の主な内容



◎幹事報告 (幹事 井上智裕)

- 1、1月31日(水)の例会は休会となっています。
- 2、本日配布の週報22号は都合により来週となります。



◇◇◇第7回理事会だより◇◇◇

- 日時：1月17日(水) 13:40~
場所：「事務局」出席：9名
議題：2017~18年度下期会費について
- ・青少年奉仕・ローターアクト委員会より
 - ・I.M第3組ロータリーリーダー報告
 - ・上田会員退会に伴い後任前田様の再入会の件
 - ・守口RC57周年記念、移動例会について
 - ・米山奨学生受け入れについて
 - ・親睦旅行について
 - ・新口座開設について
 - ・事務局の就業時間について

■ 会長：大野 智子	■ 例会場：ホテル・アゴラ大阪守口 守口市河原町10-5
■ 幹事：井上 智裕	TEL (06) 6994-1111 (代表) 〒570-0038
■ 広報雑誌・会報委員長：他谷 勝	■ 事務局：守口市河原町10-5 ホテル・アゴラ大阪守口5F 〒570-0038
URL : http://www.moriguchi-rc.jp/	TEL (06) 6994-0010 FAX (06) 6994-0009
	■ メールアドレス：info@moriguchi-rc.jp
	■ 例会日：毎週水曜日 12時30分~13時30分

◎会長の時間 (会長 大野 智子)



皆様こんにちは、今日阪神淡路大震災より23年目で犠牲者の皆様のご冥福をお祈りしたいと思います。

先週の新春邦楽演奏会には会員の皆様、ご家族、ご友人と多数ご参加頂きまして、ありがとうございます。素晴らしい演奏をして頂きました、中島会員に改めましてこころより感謝とお礼申し上げます。どうぞお体にお気をつけて頂き、会員一同ご活躍を願っております。

先日私は年賀状の整理をしておりました所、その中にステキな文章の2通を見いだしました。

その1 変身という年賀状でした。

それは変身的に物事を考えると、良いのではないかと思います、取上げさせていただきました。

- | | |
|----------------|------------|
| (1) 自分の為にするよりも | 人の為にする人に |
| (2) してもらう人より | してあげる人に |
| (3) 愛されることより | 愛する人に |
| (4) 言われてするより | 言われる前にする人に |
| (5) 嫌々するひより | 楽しんでする人に |
| (6) 教えられる人より | 考える人に |
| (7) 人のせいにする人で | 自分のせいにする人に |
| (8) 怒る人より | 許す心の有る人に |

これらの変身を少しでも、実行すれば、人に好感を持たれて、誰からも尊敬され、愛される人に、成るのではないのでしょうか?と思いました。

その2 「14の心」で聴く

聴くと言う字は耳と十と四と心から成り立っています。

- 1、耳で14の心聞きなさい
- 2、14の心で耳を傾ける
- 3、人の話を聴くときは目と耳と心で聴きましょう

その14の心とは

- | | | | |
|---------|-----------|---------|--------|
| 1、寄り添う心 | 2、労う心 | 3、勤しむ心 | 4、尊ぶ心 |
| 5、察する心 | 6、素直な心 | 7、謙虚な心 | 8、柔軟な心 |
| 9、平静な心 | 10、寛容な心 | 11、感謝の心 | 12、祈る心 |
| 13、奉仕の心 | 14、思いやりの心 | | |

この14の心をわかまえているお方は素晴らしい人だと思います。私も人のお話を聴く時は目と耳と心で聴けるように努力しようと改めて痛感いたしました。

皆様には大変失礼とはぞんじましたが、私はこの文章に心を惹かれるものがありました。

石井 会員 私、当クラブに入会して23年、丁度阪神淡路大震災の年でした。
 正木 会員 本日卓話をさせていただきます。
 大野 会員 新春邦楽演奏会で中島会員には、大変お世話に成り有難うございました。

1/17 誕生・ニコニコBOX 752,040円



卓 話

正木 一光 会員



「記念基金について」

「守口ロータリークラブ20周年記念基金」は、守口ロータリークラブ創立20周年記念事業として、基本財産又は、それより生ずる収入をロータリーの目的や綱領に沿って、博愛、慈善、教育などのための奉仕活動の推進の為に活用することとする。

育英奨学生制度は、1981年守口ロータリークラブが創立20周年を迎えた時に、記念事業として地域青少年の為に発足しました。

当初構想は、

- (1) 相当額の基本財産を保有し、その利息を充当する。
(当初目標1200万円、次いで3000万円)
- (2) 守口市民の子弟で、進学する高校の決定したものに對し、その在学3年間に返済不要、使途自由の年額10万円（ロータリー会計年度の前期に5万円、後期に5万円）を支給する。クラブ例会に参加せしめて、会長から各人に交付することを建前とする。
- (3) 記念基金管理委員会を設け、運営委員を選出氏名して、基本財産の運用と管理、奨学生の募集、選考、決定に当たる。（原則5名、目標10名）

20周年に発足致しました地域社会奉仕記念事業は10年というひと区切りを経過致しました。地域社会奉仕としての育英奨学生制度も市内各中学校、関係諸団体にも理解が深まり、その実績は高く評価され定着をしてきております。本年度は第7期奨学生が卒業し、進学を希望する者、就職して社会人として第1歩を踏み出す者、進路は違っても守口ロータリークラブの奨学生であったのだという誇りが彼等の自信となって社会の一隅を照らしてくれるよう今後の活躍を期待する次第です。

また、創立30周年を記念して念願であった第10期生10名の下記合格者を選考決定し、BA会（奨学生OB）38名、現役奨学生23名（8.9.10期）計61名を擁しております。

記念基金管理委員会（1998～1999年度）

20周年記念事業の見直しに伴い、育英奨学生の募集を2000年で打ち切るという前年度理事会承認事項を踏まえ、当年度の募集人員の削減及びロータリー会員の入会時寄付金と年会費中の拠出金の減額を決定した。

創立40周年を控えて

守口育英奨学生制度を2000年度で募集を打ち切る。守口育英奨学生制度に替る新規事業は「守口市における青少年の情報教育の助成」とする。委員会の答申に基づいて「情報教育委員会」を新設して40周年記念事業として助成事業がスタート出来る様具体的案、実施に入る。

40周年記念の重要事業として

社会奉仕新規事業として、青少年情報教育支援については、守口教育センターと連携をとり、教育支援に必要な電子機器（ノートパソコンとデジタルカメラ）各30台を平成12年11月29日市長室にて守口市長へ目録を贈呈いたしました。

当クラブ創立20周年を記念して発足した地域社会奉仕記念事業としての育英奨学生制度も市内中学校の理解を得て現在19期生に至りその数130名となり事業の進展を見たのである。

しかし本制度も一定の成果を得たこともあつて2000年度を以て募集を打ち切り新規事業として情報教育支援事業が始まることとなりました。育英奨学生達は進路は違っても守口ロータリークラブの奨学生としての誇りと自信をもって実社会において活躍するものと確信しています。

守口ロータリークラブ育英奨学生

第1期生	計5名	第2期生	計5名
第3期生	計5名	第4期生	計6名
第5期生	計5名	第6期生	計6名
第7期生	計6名	第8期生	計5名
第9期生	計8名	第10期生	計10名
第11期生	計10名	第12期生	計10名
第13期生	計8名	第14期生	計8名
第15期生	計6名	第16期生	計8名
第17期生	計8名	第18期生	計6名
第19期生	計5名		

累計 130名

